

取扱説明書

高濃度水素水サーバー



- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更する場合があります。



目次

○ 安全上のご注意	3
○ 各部の名称	7
○ 設置について	
設置方法	10
初期調整	11
フロントカバーのはずし方とタンク排水方法	12
○ 操作方法について	
機能について	13
使用方法	14
サーキュレーションについて	16
○ フィルターについて	
フィルターの洗浄について	17
フィルターの説明	19
フィルターの脱着方法と交換について	20
フィルターの注意事項	21
○ 水漏れ防止装置解除方法	22
○ トラブルが発生したら	23
○ 製品仕様	25

製品特長

高濃度水素水サーバー「水素ごっくく」には以下のような特長があります。

水道直結型

ボトル交換の手間が不要。作りたてのおいしい冷水・温水が毎日使い放題です。

※冷水4~6℃、温水80~90℃

脱着式RO濾過システム

■ RO(逆浸透膜処理)を含む多段式濾過システムを採用することで、全国どこの水道水でも不純物(残留塩素・トリハロメタン・細菌・ウィルス・農薬・放射性物質など)を除去し、安心安全な水にします。限りなく純水に近い水だからこそ、身体にすばやく浸透します。

■ TDS=不純物濃度10ppm以下

※ろ過浄水(RO水)を作るには、不純物が混入しているとされる捨て水が必要です。

また、水質によりその割合は変動します。

サーキュレーション(本体内水循環機能)システム搭載

本体タンク内の水を定期的に自動循環させ、水の劣化や雑菌増殖を防ぎ、同時に水素を再付加することで、常に安心・高濃度を保ちます。

安全な水素供給

水素生成用水と飲用水を分け、水素を気体の状態で水に付加するため、電極による重金属が一切入りません。

節電モード採用

光センサーを取り入れ、サーバー利用の少ない夜を感知することにより、自動的にサーキュレーションを抑制するなどの自立型節電が可能です。

クリーンドア

給水スペースを清潔に保ちます。(ドアは脱着可能です。)

温水安全給水システム

火傷防止のため安全性の高い温水給水操作方式です。

※温水ランプ点滅時のみ給水可能。

弱酸性から中性域の水です

おいしく感じるとされるPH値(PH6.2~6.8)です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、本製品を安全で正しく使用するために注意事項を必ず守ってください。
- 注意事項を守らず、誤った使用をした場合、お使いになる方や他の人への危害、本製品の破損や財産の損害が発生する可能性があります。
- 安全に係わる注意事項は、過って使った場合に発生が想定される危害や損害の程度、緊急度合により次のように分類しています。



警告

死亡や深刻な傷害を負う可能性がある場合



注意

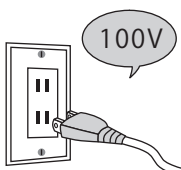
軽微な傷害や物的損傷のみが発生する可能性がある場合



警告の項目は、特にご注意ください。

警告

本製品は必ず設置された交流100V専用コンセントをご使用ください。



落水、雨水、お風呂場、シャワー室、屋外など直に水に触れるような湿気の多い場所には設置しないでください。



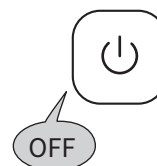
熱湯が出ますので直接手で触れないでください。

■火傷の恐れがあります。
(温水は必ず耐熱性の容器をご使用ください。)



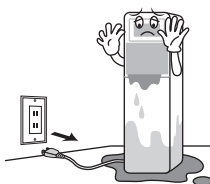
フィルターを交換する際には主電源をOFFにしてから行なってください。

■感電の原因になります。



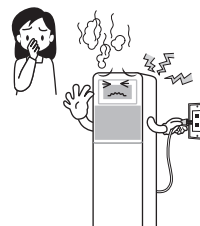
製品内部から水漏れがあったり、製品の周辺に水が溜まっている場合には専用分岐水栓を閉じ、電源プラグを抜き、メーカーへご連絡ください。

■感電、火災の恐れがあります。

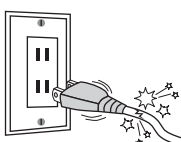


製品から異常な音や臭い、煙などが発生したら、電源プラグを抜き、メーカーへご連絡ください。

■感電、火災の恐れがあります。

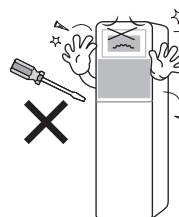


電源プラグの破損または、揺らぐ場合にはご使用をお止めください。



製品を任意で分解・改造・加工をしないでください。

■感電、漏電や火災の原因になります。

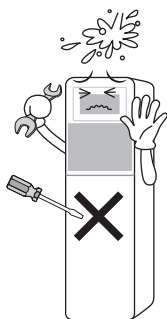


安全上のご注意（必ずお守りください）

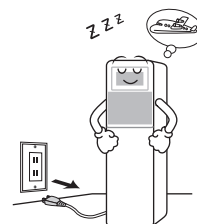
警告

本体の内部に水がかからないようにしてください。また、針金やドライバーなどが入らないようご注意ください。

■製品故障や感電の原因になります。

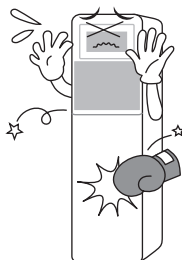


長期で留守をされる場合は必ず電源プラグを抜き、給水管アダプタのレバーを閉めるか、水道止水栓を閉じてください。また、製品内部のタンクの水も必ず抜き取ってください。



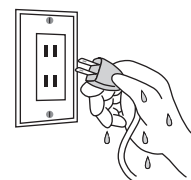
製品に無理な衝撃を与えないでください。

■製品故障や感電の原因になります。



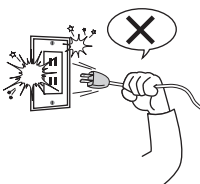
電源プラグを濡れた手でさわると危険です。

■感電の原因になります。



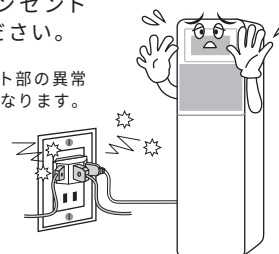
電源プラグを無理に曲げたり結んだり引っ張らないでください。また、重いものをのせて破損させないでください。付着したホコリや異物も取り除いて使用してください。

■感電やショートのため火災の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単体でご使用ください。

■タコ足配線はコンセント部の異常過熱により火災の原因になります。



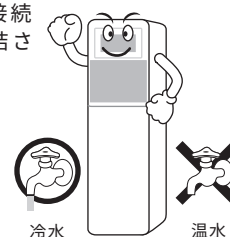
フィルターの交換は適正時期に定期的に行い、必ず純正部品のフィルターをご使用ください。（詳細については19～20Pをご覧ください）

■水質異常や故障の原因になることがあります。



製品は必ず冷水配管に接続させ、温水配管には連結させないでください。

■故障の原因となります



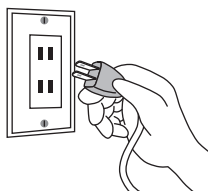
安全上のご注意（必ずお守りください）

- 製品を移動・再設置する場合は必ず代理店、又はメーカーへご連絡ください。故障、漏水、感電、火災などの恐れがあります。設置場所を変える場合の移費用は別途請求となります。
- 水道水以外の水を使用する場合は確認が必要となりますので、メーカーへお問い合わせください。故障の原因となる場合があります。
- 給水後の浄化された水は可能な限り早く消費してください。長い時間が経過しますと味が変わり細菌が増殖しやすくなります。

⚠ 注意

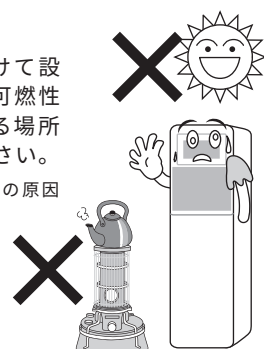
運搬後、給排水ホース接続作業が終了するまで電源は入れないでください。

■製品故障などの原因になります。



火気や直射日光を避けて設置してください。また可燃性ガス漏出の恐れがある場所には設置しないでください。

■製品不良、事故、火災などの原因になる恐れがあります



稼働中の製品の周囲では殺虫剤や可燃性のスプレーを使用しないでください。

■故障や火災の原因となります。

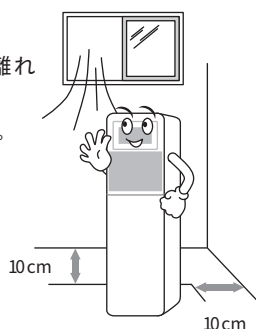


硬くて平らな所に置いてください。また、付属の転倒防止ワイヤーで壁などへ固定するようにしてください。



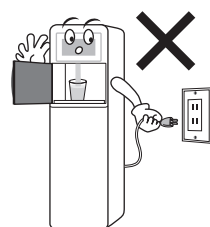
設置は壁から10cm以上離れた場所にしてください。

■製品故障の原因になります。



稼働中に電源プラグを抜かないでください。電源を切るときは必ず電源ボタンを押してください。

■製品の故障の原因となる恐れがあります。



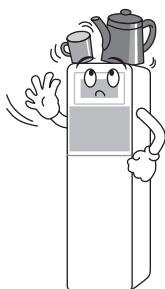
安全上のご注意（必ずお守りください）

- 浄水フィルターを処理する際には、お住まいの各自治体の処分方法に従ってください。（環境汚染の原因になります）
- 製品の設置や使用時には、周囲の温度が常温でなければなりません。（周りの温度が0℃以下の場合は凍結する恐れがあります）
- 製品の掃除、お手入れは電源を切ってから行ってください。（故障や感電の恐れがあります）

！ 注意

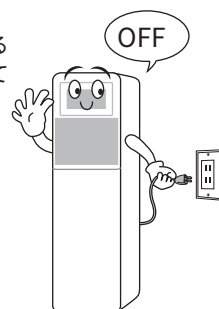
製品の上に重いものを置かないでください。

■製品破損の原因になります。



断水または水道水を止める場合は電源プラグを抜いてください。

■製品破損の原因になります。



掃除の際にシンナーやベンゼン、ワックスなどは使わないでください。

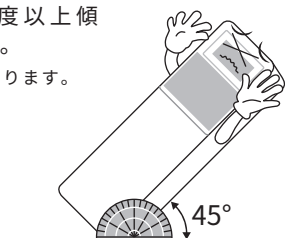
■製品の変色などによる損傷の原因になります。

■別紙「水素ごっこく」のご使用方法を参照ください



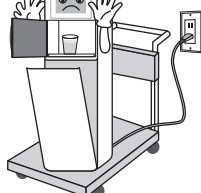
運搬の際には45度以上傾けないでください。

■製品故障の原因になります。



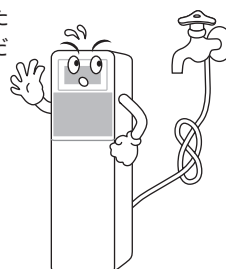
製品が稼動中の際には移動させないでください。また、前面カバーを開けないでください。

■製品の故障、感電の恐れがあります。

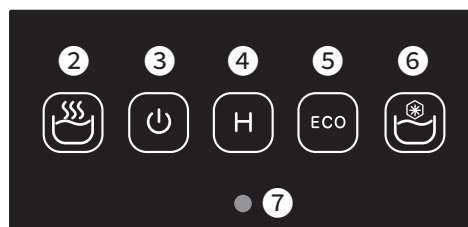
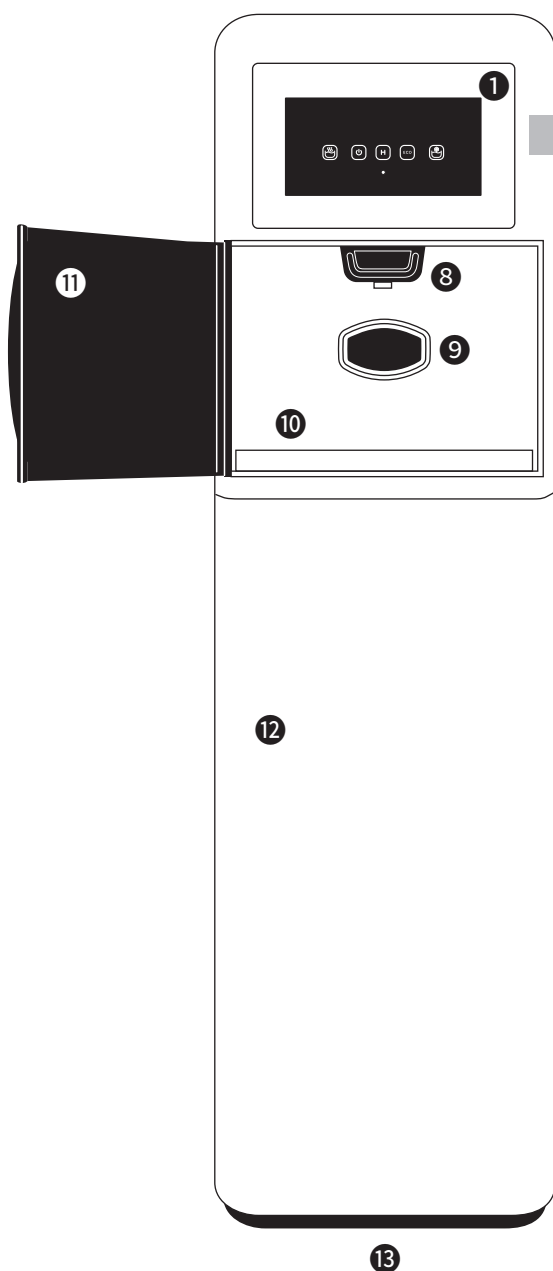


給排水ホースが絡んだりたまたまれないようにしてください。

■水漏れ等の原因になります。



各部の名称（本体正面）



- ① 機能表示..... 作動している機能の状態が表示されるLEDパネルです。
- ② 温水ボタン..... 温水機能稼働時点灯。温水を給水するときはこのボタンをタッチします。(点滅中のみ給水可能)(P-14)
- ③ 電源ボタン..... 主電源ボタンになります。稼働時点灯
- ④ 水素ボタン..... 水素発生装置を稼働させるボタンです。稼働時点灯 (P-15,16)
- ⑤ ECOボタン..... 節電機能を稼働させるボタンです。ランプ (P-15)
- ⑥ 冷水ボタン..... 冷水機能稼働時点灯。長押しすると点滅し連続給水できます。(P-14)
- ⑦ 光センサー..... 昼と夜を見分け節電します。(P-15)
- ⑧ 給水コック..... 冷水・温水がでます。
- ⑨ コックスイッチ..... 押すと冷水・温水を給水コックから出します。
- ⑩ 水 受 皿..... 少量の水が垂れてしまったときに一時的に受けます。
- ⑪ クリーンドア..... 給水部を衛生的に保ちます。(着脱方法 P-14)
- ⑫ フロントカバー..... フィルター交換時などに開閉します。(P-12)
- ⑬ 減圧バルブ付..... 設置面の保護、防水の役目もあります。

※本体には保護用フィルムを貼っておりますので、全てはがしてからご使用ください。

各部の名称（本体背面）

- ⑭ 冷水主スイッチ
- ◇ONで冷水機能を稼働させます。
(表示パネルの冷水ランプ:点灯)
 - ◇OFFで停止します。
(表示パネルの冷水ランプ:消灯)

- ⑮ 温水主スイッチ
- ◇ONで温水機能を稼働させます。
(表示パネルの温水ランプ:点灯)
 - ◇OFFで停止します。
(表示パネルの温水ランプ:消灯)

- ⑯ 排水口
LIVING WATER

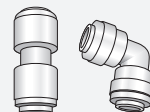
- ⑰ 青色ホース

- ⑱ 電源プラグ

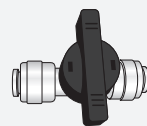
- ⑲ 減圧バルブ付トレイ

付属品

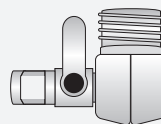
ホースコネクター<2個>
給排水の専用ホースをつな
げる時に使用します。
(直列型またはL字型)



ボールバルブ<1個>
フィルター洗浄などの
際に使用します。



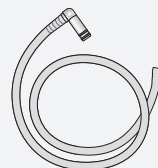
給水管アダプタ<1個>
水道管に装着し、サーバーに
給水するようにします。



専用パッキン



排水用ホース<1本>
サーバー内のタンクから水を抜く
時または、フィルター洗浄を行
うに時に使用します。(P-13)



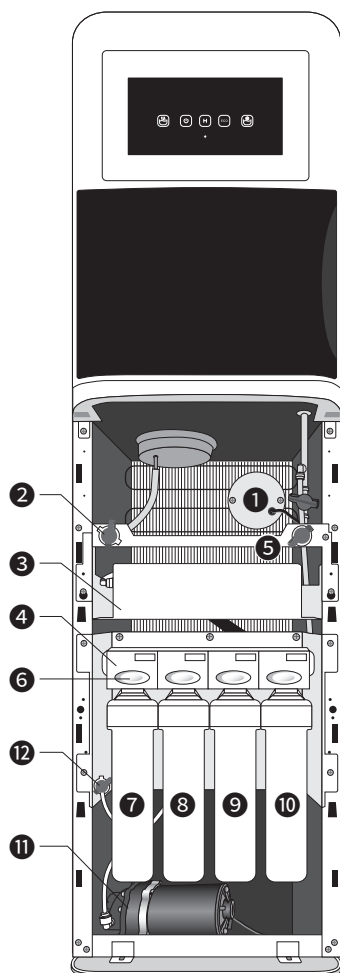
専用ホース<10m×2本>
カッターやはさみで必要な長
さにカットして使用します。

転倒防止ワイヤー<2本>
サーバー設置場所の後方の
壁などに釘やビスなどで固
定するようお願い致します。

- ⑲ 給水口
SOURCE WATER

- ⑳ 白色ホース

各部の名称（本体内部）

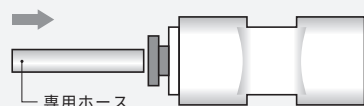


- ① サーキュレーション タンク内の水を循環させるためのポンプです。
ポンプ
- ② タンク排水口 タンク内の水を排水する場合、ピンクのキャップ（ピンクキャップ）をはずし、排水用ホースを差し込みます。
- ③ 水素発生装置 この中で水素を生成し、付加しています。
- ④ フィルターホルダー 4本のフィルターを装着しています。
4本のフィルターを洗浄する際、青色キャップを外し排水用ホースを差し込み、フィルター内のほこりを含んだ水を排水させます。
- ⑤ 一括洗浄用排水口 （青色キャップ）
- ⑥ ホルダーボタン フィルターを取り外す際に押します。
- ⑦ セディメント フィルターの説明（P-19）
フィルター
- ⑧ プレカーボン フィルターの説明（P-19）
フィルター
- ⑨ ROフィルター フィルターの説明（P-19）
- ⑩ ポストカーボン フィルターの説明（P-19）
フィルター
- ⑪ ブースターポンプ 給水するためのポンプです。
- ⑫ ボールバルブ付 ROフィルター以外のフィルターをフィルターホルダーの向かって左端に接続した状態で1本毎に洗浄する際に使用する排水ホースです。

ホースコネクター・ボールバルブについて

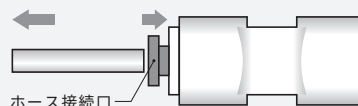
基本的な取り付け・取り外し方法

【取り付け】



強く奥まで押すだけで取り付けられます。

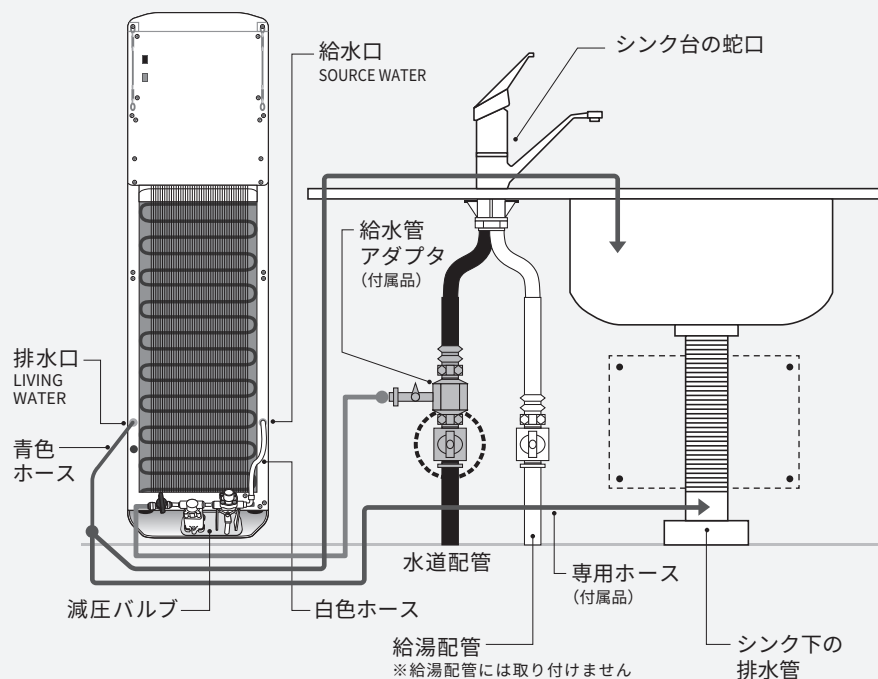
【取り外し】



ホース接続口を奥へ押すとホースは抜けます。

設置方法

設置イメージ図



- 本サーバーを設置するには、付属の給水管アダプタ（パッキン付）・ボールバルブ・専用ホース（白いホース）を使用します。
- 上記の図は、給排水をシンク台から配管する設置方法のイメージ図です。

※1 シンク下給水管がボードで覆われた壁の内側にある場合があります。ボードを外してから作業を行ってください。給水管が見当たらない場合は、専門業者へご相談ください。

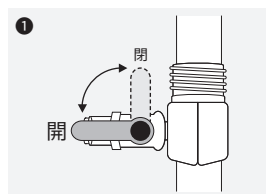
断水復旧後などの設定

水道直結式ですので、水道工事や災害時の断水後などはサーバー本体にも濁り水が混入することがございます。

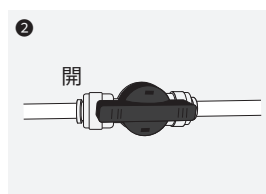
機械の故障を避け、フィルターの寿命を守るために、あらかじめわかっている場合には、本体の電源を切り、給水管アダプタの止水栓を閉じたまま水道の蛇口から水を出し、その水がきれいになったことを確認してからサーバー使用を再開してください。

初期調整

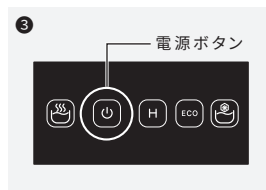
- ❶ 給水管アダプタのレバーを開きます。



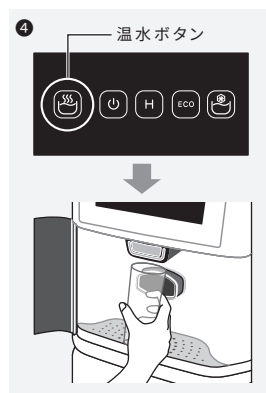
- ❷ 背面のボールバルブを開き、本体電源をオンにしサーバー内の冷水・温水タンクに水を貯めます。



- ❸ 機能表示パネルの電源ボタンをタッチしてサーバーを稼働させます。



- ❹ 約50分で満水になりますので、ここで注水確認をします。



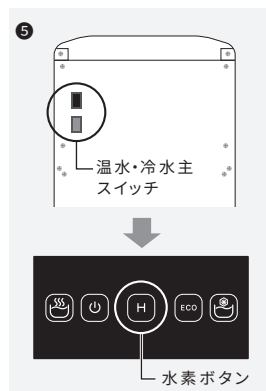
- ◇ コックスイッチを押し、水が出る。

→ 冷水機能の確認OK

- ◇ 温水ボタンを押し、温水ランプが点滅中にコックスイッチを押し、水が出る。

→ 温水機能の確認OK

- ❺ 背面の温水主スイッチ、冷水主スイッチをONにします。また、表示パネルの水素ボタンをタッチし、水素発生装置も稼働させます。



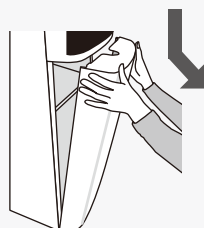
- ❻ 再び60分待ちます。

- ❼ 水素水の冷水、および温水が給水可能状態となります。

フロントカバーのはずし方とタンク排水方法

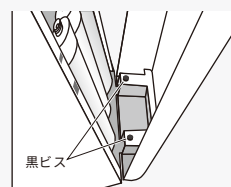
フロントカバーのはずし方

フロントカバーを両手で下へ押しながら、手前へ引きます。



フロントカバーの取り付け方

本体内側下部 2 カ所の突起部分に、フロントカバーの黒ビス部分をのせるように合わせ、押し込みながら取り付けます。



タンク排水方法

水道管にとりつけた給水管アダプタの止水栓を閉じてください。

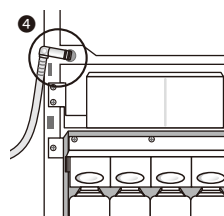
※電源は入れたまま行ってください。



- ① コップ 1 杯程の冷水を取水してサーキュレーションシステムを稼働させます。
- ② 上記の方法でフロントカバーをはずします。
- ③ 本体背面の「HOT SW」を OFF にします。
- ④ バケツなどの大きめの容器を用意し、本体内部の排水口のピンク色のキャップを外し、付属品の排水用ホースを差し込みます。
- ⑤ 排水用ホースを差込むと、自動的に排水されますので、ホースの先に容器を置き、受けるようにしてください。

※ドレン用ホースを差込んでも排水されない場合は、ホースを差込んだままの状態タッチパネルの「H」ボタンを押し、水素発生機能を休止させ再度押して稼働させますと排水されます。

※温水、冷水両方排水されますので、火傷等にご注意ください。

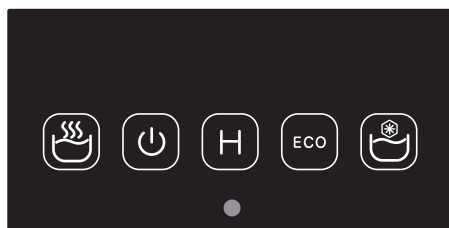


⚠ 注意

サーバーを移動させるときや、長期使用しない場合は、本体タンク内の水を排水して、電源をオフにしてください。タンク内の水をそのままにしておきますと雑菌が増殖するなど、変質する恐れがございます。

機能について






機能表示はタッチパネル式です。



点灯 稼動しています

消灯 稼動していません

点滅 機能によって変わります
(下の表を参照してください。)

 温 水	<p>点灯 背面の温水主スイッチが ON の状態で温水機能が稼動状態です。</p> <p>消灯 背面の温水主スイッチが OFF の状態、または節電モード中で、温水機能は稼動していません。</p> <p>点滅 点灯時に押すと15秒間点滅しますので、この間にコックスイッチを押すことで温水を出すことができます。</p>
 電 源	<p>点灯 電源が入っています。</p> <p>消灯 電源が入っていません。</p>
 水 素	<p>点灯 水素発生機能が稼動中です。</p> <p>消灯 水素発生機能が稼動していません。10時間 OFF 状態が経過した場合、水素発生機能が自動的に稼動します。</p> <p>点滅 節電モード稼動中。</p>
 節 電	<p>点灯 温水機能停止</p> <p>消灯 温水機能稼動</p>
 冷 水	<p>点灯 背面の冷水主スイッチが ON の状態で、冷水機能稼動中です。</p> <p>消灯 背面の冷水主スイッチが OFF の状態で、冷水機能は稼動していません。</p> <p>点滅 冷水給水中。また点灯時に3秒長押しすると、45秒間点滅し、連続給水ができます。</p>

※5つの表示 LED が同時にすべて点滅した時は、何らかのエラーが生じていることのお知らせです。
(P-23 を参照してください。)

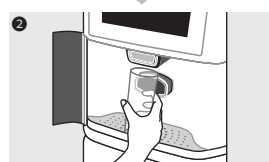
使用方法

冷水(水素水)を給水したいとき

- ① クリーンドアを開け、容器を給水口にあわせてセットします。
- ② 容器または容器を持った指でコックスイッチを押します。



点灯: 電源ランプ/ 冷水ランプ/ 水素ランプ



温水を給水したいとき

- ① 温水ランプを押します。
 - ② 温水ランプ 点滅 後、15秒以内にクリーンドアを開け、耐熱の容器を給水口にあわせてセットし、容器または容器を持った指でコックスイッチを押します。
- ※火傷に注意してください。



点灯: 電源ランプ/ 温水ランプ



点滅: 温水ランプ

冷水(水素水)を連続給水したいとき

- ① クリーンドアを開け、容器をセットしてから冷水ボタンを3秒長押しします。
- ② 冷水(水素水)が連続して45秒間注水され、その間、冷水ラ 点滅 は点滅します。コックスイッチを押す必要はありません。途中で止める場合は再度冷水ボタンを押します。

※温水の連続給水は出来ません。



点灯: 電源ランプ/ 冷水ランプ/ 水素ランプ

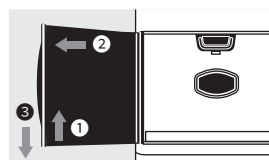


点滅: 温水ランプ

クリーンドアの着脱方法

- ① ドアを押し上げます。
- ② ドアを開きます。
- ③ 手前に少し引いた状態で下に下げると外れます。

※再度付ける場合は、反対の作業で取り付けられます。



使用方法

節電モード(光センサー)について

昼と夜を見分けるセンサーが自動的に水素発生装置及び、サーキュレーションシステムを停止・稼働させる節電機能です。

夜 【15秒間光を感知できない場合】
水素発生機能とサーキュレーションシステムがストップします。
機能表示パネル LED の明るさも 1/2 に減少されます。

昼 【15秒間光を感知した場合】
15 秒間光を感知するとサーキュレーションシステムが再稼働します。
機能表示パネル LED の明るさが通常に戻ります。

■ 節電モード 開始

- ① ECO ランプ + 冷水ランプを同時に押します。
- ② 水素ランプが **点滅** し、節電モード状態になります。



■ 解除

ECO ランプ + 冷水ランプを同時に押します。
水素ランプが **点灯** し、サーキュレーション稼働(15分)が始まります。

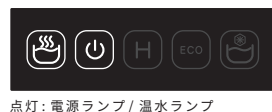


※水素発生機能を解除（水素ランプ消灯）している場合は、節電モードにはなりません。

ECOランプについて

- 背面の温水主スイッチをONにしたままでも節電のため温水機能をストップさせることができます。
- ECO ボタンをタッチし、点灯させると温水機能が停止します。
- 温水機能を再度稼働させる場合は、ECO ボタンをタッチします。(温水ランプ点灯)

※節電ランプ点灯中に温水ボタンをタッチした場合でも、温水点滅中は給水可能になりますが温水ではありません。

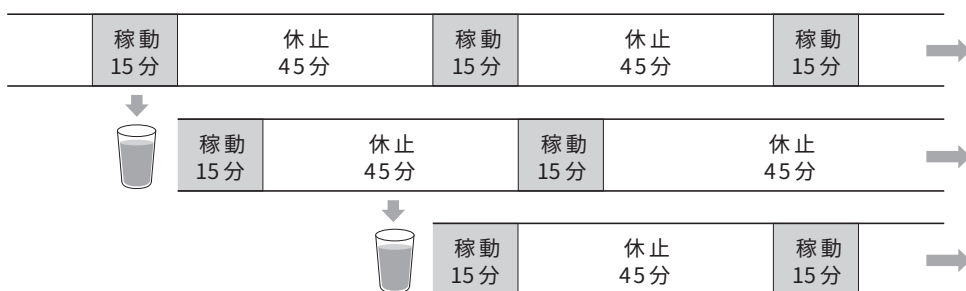


サーキュレーションについて

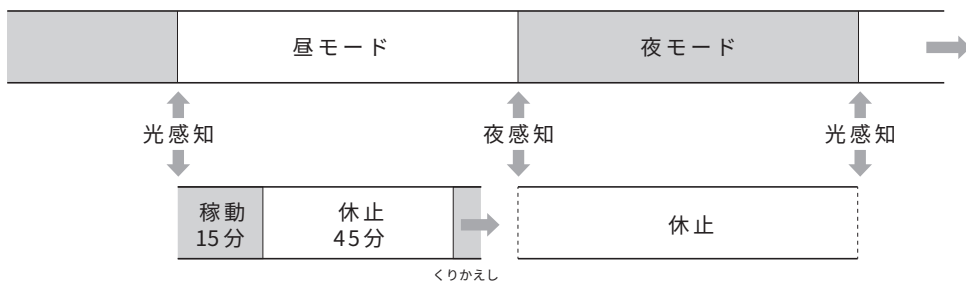
本体タンク内の水を循環させるポンプが水素発生機能と合わせて、自動的に稼動(ON)と休止(OFF)を繰り返します。

通常時

給水した時点から15分稼働が始まります。

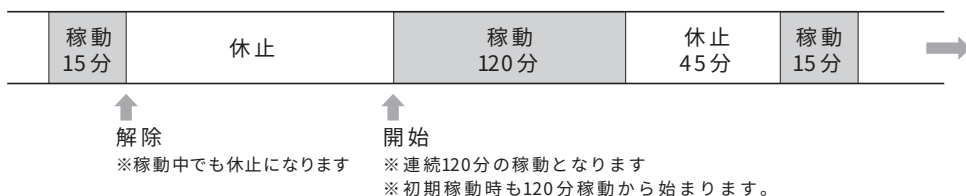


節電モード(光センサー)の場合



水素ボタンについて

水素ボタンを押し、水素発生機能を開始・解除させた場合

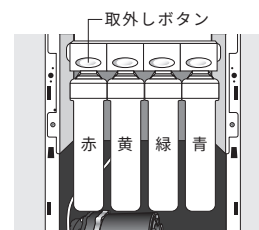
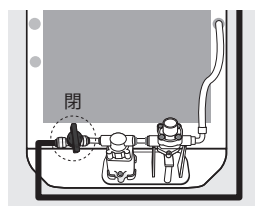


フィルターの洗浄について

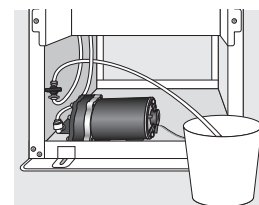
- 出荷前洗浄を依頼されている場合、下記作業は必要ありません。
- サーバー本体の給排水管接続が完了してから行ってください。
- 初めて使うフィルター内の塵やごみを取り除くための洗浄作業です。
- 3リットル以上入るバケツなど、大きめの容器をご用意してください。

- ① 給水アダプタから伸びた専用ホースと、減圧バルブの間にあるボールバルブが「閉」じていることを確認してから、フロントカバーをはずし、フィルター4本を全てはずします。

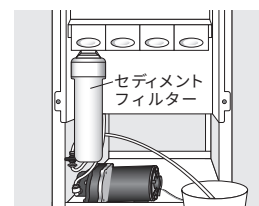
※フィルターの真上の取外しボタンを押しながら引き抜きます。



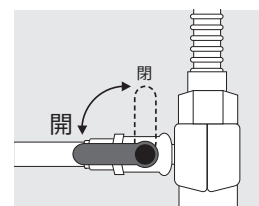
- ② 本体内側（左下部）に収納されているボールバルブ付ホース（「閉」状態）を手前に引き出し、ボールバルブに付属している止水ピンを外し、適当な長さにカットした専用ホース（白色）を接続し、容器に注げるよう準備します。



- ③ セディメントフィルター（赤）を一番左のコネクターに装着します。

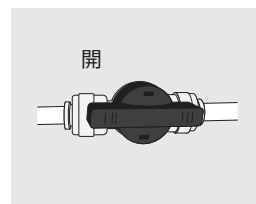


- ④ 給水アダプタのレバーを専用ホース（白色）と同じ向きにし「開」にし、通水します。



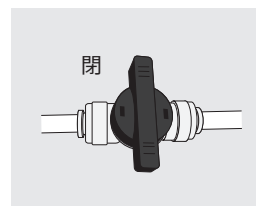
フィルターの洗浄について

- ⑤ ①で確認したボールバルブを「開」にしてから、②のボールバルブ付ホースも「開」にしますと、ホースから水が出てきます。



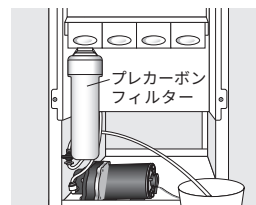
- ⑥ 容器に 2～3ℓの水が溜まりましたら、⑤で開いたボールバルブを2つ共に「閉」にします。

※容器の水にはフィルター製造時のほこり等が混ざっていますので飲用はできません。

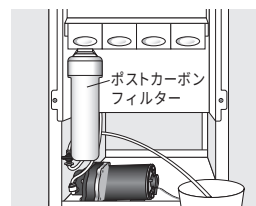


- ⑦ セディメントフィルター(赤)をはずし、プレカーボンフィルター(黄色)を装着し⑤～⑥の作業を行います。

※フィルターをはずす際は、フィルター内の残水がこぼれますのでご注意ください。



- ⑧ プレカーボンフィルターをはずし、ポストカーボンフィルター(青色)を装着し、同様に⑤～⑥の作業を行います。



- ⑨ ポストカーボンフィルターをはずし、ボールバルブ付ホースを元の場所へ収納します。

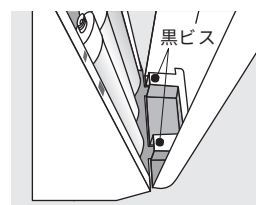
※フィルターの構造上、RO フィルターは初期洗浄の必要はございません。

※収納の際、必ずボールバルブを「閉」の状態にし、先端を止水ピンで防いでください。

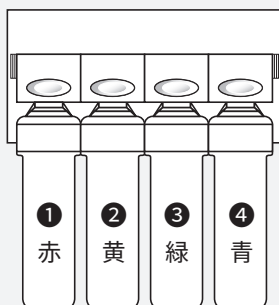
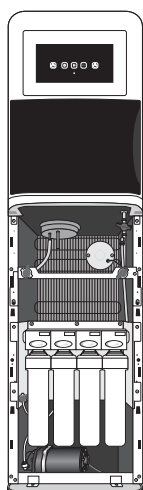
- ⑩ 4本のフィルターをもとの順番に装着し、フロントカバーも戻します。

【フロントカバーの取り付け方】

本体内側下部2カ所の突起部分に、フロントカバーの黒ビス部分をのせるように合わせ、押し込みながら取り付け、さらにフロントカバー下に2本のネジをドライバーで固定します。



フィルターの説明



フロントカバーをはずしますと、シールで色分けされた4本のフィルターが装着されています。

それぞれの性能により、交換周期が異なりますので、表示された交換周期を目安に交換していただきますようお願いいたします。

名 称	交換目安	機 能	表示シール カラー
①セディメント フィルター	6 ヶ月	浮遊物質やさびなどの不純物を取り除く最初のフィルター。	赤色
②プレカーボン フィルター	6 ヶ月	生物学的に分解しにくい化学物質、毒性物質、有機物質などを除去する活性炭のフィルター。 残留塩素、トリハロメタン、ダイオキシンも取り除きます。	黄色
③RO フィルター	2 年	水と不純物を分離させるために浸透圧以上の圧力をかける逆浸透膜ろ過システム。 ウイルスや細菌も通さない0.1ナノメートル以下の膜の微孔で重金属なども取り除きます。	緑色
④ポストカーボン フィルター	2 年	再度この活性炭フィルターを通す事で、不快な味やにおいも取り除きます。	青色

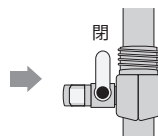
※交換時期の目安は1日10ℓ使用の場合

フィルターの脱着方法と交換について

フィルター交換

最初に必ず主電源を切り、水道管にとりつけた給水管アダプタの止水栓を閉じてください。

OFF



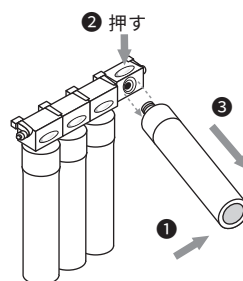
フィルター脱着方法

【はずし方】

- ① 外したいフィルターを斜めに持ち上げます。
- ② 持ち上げたフィルターの上のホルダーボタンを押し、フィルターを抜きとります。

※ 抜きとる際、残り水がこぼれる場合がございますので、フィルターは上まで持ち上げないようにしてください。

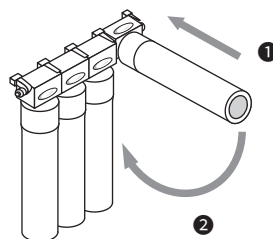
※ 抜き取った後は、シンクなどでフィルターをしばらくさかさまにし、残り水を捨てるようにしてください。



【取り付け方】

- ① 新しいフィルターをホルダーに押し入れます。
- ② フィルターを元の位置に戻します。

※ すべてのフィルターは同じ手順で着脱できます。



⚠ 注意

- 交換用のフィルターは必ず純正品を使用してください。
- 水がこぼれる場合がございますので、床など濡らさないようご注意ください。
- フィルター交換の際は、内部のホースや他のフィルターなどを傷つけないようご注意ください。

フィルターの注意事項

性能について

■サーバーの性能はフィルターによって左右されます。

純正フィルターを使用していない場合や、純正フィルターでも長く使用した場合は、フィルターの性能が落ちて浄水機能が不十分となり、水素水発生装置にもダメージを与えます。フィルターの交換周期に合わせて純正フィルターに交換してください。

交換周期について

■基本的に4人家族が通常使う水の量として、1日10ℓ程までのご利用を目安とした算定です。

サーバー使用量や水道水の水質などの使用環境によって交換周期が前後する場合がございます。

有効浄水量とは？

製品仕様に表示されている有効浄水量は、クロロホルムなどの除去率を基準にして算定されたフィルターの浄水可能量を意味します。

【有効浄水量】

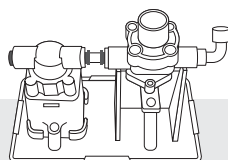
セディメント	約2,000 ℓ
プレカーボン	
RO	約8,000 ℓ
ポストカーボン	約3,000 ℓ

注意

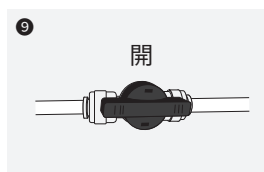
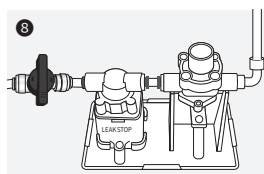
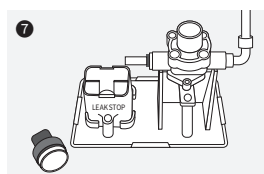
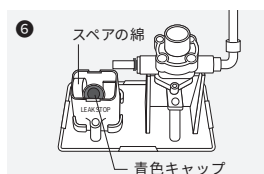
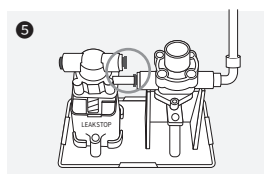
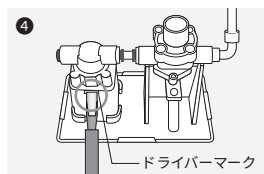
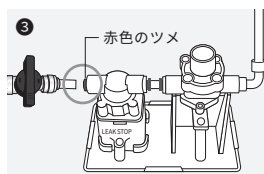
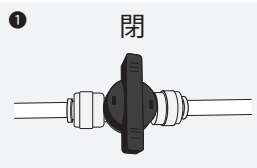
■本製品は緊急時を除いて、飲用適合水(水道水)専用としてご使用ください。

水漏れ防止装置解除方法

水漏れ防止装置



- ① サーバー背面のボールバルブを閉めます。
- ② サーバー下のトレイに溜まった水を拭き取ってください。
- ③ 赤色のツメ部分のホースを外します。
- ④ 本体左部分の「LEAK STOP」の文字上部のドライバーマークの穴にマイナスドライバーを差し込みます。差し込み先端を下に向けると簡単に外れます。
- ⑤ 装置の真ん中をつなぐホースを外します。
- ⑥ 上部を外すと、バネの下に青いキャップがあり、そこに水を含んだ綿があります。その青いキャップ下の綿を取り除きます。同内部の側面に圧縮されたスベアの綿が収まっています。
- ⑦ 内部に水気がない事を確認後、スベアの綿を青いキャップの下にセットします。
- ⑧ セット完了後に上部のフタを閉め、真ん中をつなぐホースをグレーの入り口に入れなおし、初期の状態に戻します。
- ⑨ サーバー背面のボールバルブを開き、再び給水が可能になります。



トラブルが発生したら

症 状	確認事項	対処方法
電源が入らない	電源プラグが入っていない	電源プラグを正しく入れてください。
	電源ボタンを押してもつかない	代理店若しくはメーカーへ連絡してください。
水が漏れている	給排水専用のホースが しっかり差し込まれていますか？	各連結部分のホースを差し込み口の奥まで確実に差し込んでください。(P-9)
	本体内部からの水漏れですか？	給水管アダプタの止水栓を閉め、コンシェルジュデスクへ連絡してください。
冷水なのに 冷たくない <small>※最初のコップ半分程度は 常温ですのでご注意ください。</small>	冷水表示が 消灯状態ではないですか？	背面の冷水主スイッチを入れてからシステム稼動後、1時間おまちください。
	多量の冷水を取水したばかりではないですか？	水が冷えるまでしばらくお待ちください。
	本体の周囲温度が35℃以上になっていませんか？	換気扇などで、換気し周囲の空気温度を下げてください。
	本体と壁との距離が 近づきすぎていませんか？	壁との距離を10cm以上離してください。
水素水機能が 稼動しない	水素表示が 消灯状態ではないですか？	水素ボタンをタッチしてシステム稼動させてください。
	給水管アダプタまたは、ボールバルブが閉じたままではないですか？	給水管アダプタまたは、ボールバルブを開き、水を供給してください。

トラブルが発生したら

症 状	確認事項	対処方法
水が出ない	トレイに水が溜まっていませんか？	背面の水漏れ防止装置を解除してください。
	水供給部分のバルブが閉じたままではないですか？	バルブを開き、水を供給してください。
	配管連結状態を確認してください	配管状態を点検してホースがおれているところなどがいないか確認してください。
	フィルターの交換時期が過ぎていませんか？	フィルターが詰まっている可能性があります。交換してください。
温水になっていない ※最初のコップ半分程度は常温ですご注意ください。	温水表示が消灯状態ではないですか？	温水ボタンをタッチしてシステム稼働後、しばらくお待ちください。
	多量の温水を取水したばかりではないですか？	温水になるまでしばらくお待ちください。
パネル表示が全て点滅	エラー表示です	電源を入れてから4時間経過しても本体内のタンクが満水にならない場合、点滅します。水漏れや断水がないかなど点検してください。
パネル表示が順番に点滅	エラー表示です	給水管アダプタまたは、ボールバルブを閉め、代理店若しくはメーカーへ連絡してください。
水の味や匂いが気になる	サーバーを長時間放置していませんか？	サーバー内から水を全て抜いてから再稼働させてください。(P-12)
	フィルターの交換時期が過ぎていませんか？	直ちに交換してください。
出てくる水の量が少ない	フィルターの交換時期が過ぎていませんか？	直ちに交換してください。
	給水管アダプタまたは、ボールバルブが閉じたままではないですか？	バルブを開き、水を供給してください。
	配管連結状態を確認してください	配管状態を点検してホースが折れているところなどがいないか確認してください。

製品仕様

製品名	「水素ごっくく」	冷媒	R-134a 35g
品名	冷温浄水器	冷水タンク容量	4.8L
サイズ	360(W)×410(D)×1265(H)mm	冷水温度調整装置	T/C
重量	36kg	温水タンク容量	2.0L
定格電圧	100V 50～60Hz	温水温度調整装置	バイメタル
消費電力	電熱450W 電動100W	加熱防止装置	バイメタル
コンプレッサー	1/15Hp	安全装置	過冷防止装置／過負荷防止装置 オーバーフロー防止装置
放熱方式	ワイヤーコンデンサー		

交換用フィルター価格

セディメントフィルター	¥3,500 (税別)	ROフィルター	¥13,500 (税別)
プレカーボンフィルター	¥4,000 (税別)	ポストカーボンフィルター	¥4,000 (税別)
イオン交換フィルター	¥3,500 (税別)	サーキュレーションフィルター	¥9,300 (税別)

※フィルター洗浄費 ¥1,000 (税別) / 本 (洗浄依頼をする場合)

お問い合わせ  **0120-313-599**

平日 9:00～18:00 (土日祝定休)

E-mail: water@syoei-w.net

製造元

株式会社 翔栄ウエルネス

〒163-0802 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル2F

[中野営業所] 東京都中野区東中野3-1-2

Tel 03.5337.5599 / Fax 03.5337.5595

<https://313599.net>

Memo

水を変える。わたしが変わる。

私たちのからだのおよそ3分の2は、水分で構成されています。体内の水分は、身体の隅々まで栄養を運び、体温の調節も行ってくれる、生物としての機能を保つための大切な要素です。

つまり、どんな水を飲むかによって、人の身体は良くも悪くも変化する。

だから私たちは、『水素水』を
オススメしているのです。

水素水でからだの中からリフレッシュして、
美しい自分に生まれ変わりませんか。

水素水に
ひとつ先の品質を